

教科名	地理歴史	科目名	地理A	単位数	2単位
学年	第1学年		男子 11名 女子 4	計 15名	
教科担任氏名	村山 貴彦		使用教科書	現代地理A 最新版 (清水書院)	
科目の目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				

評価の観点	趣 旨	配 分
関心・意欲・態度	世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性について、興味・関心を持たせる。地理的課題、生活圏の諸課題に、身近な問題としてとらえ、関心を深めているか。	20%
思考・判断・表現	世界諸地域の生活・文化の多様性を考えさせる。地球的課題は、地域によって現れ方が異なり、その解決方法が考察されているか。	25%
技 能	地球儀や様々な世界地図の読図などを通し、地理的スキルが身に付いているか。	25%
知識・理解	世界の諸地域の異文化を理解し尊重できるようにする。地球課題については、各国の取組や国際協力が必要であることを理解させる。生活圏の諸課題については、日常生活と結び付いた地理的見方や考え方が身に付いているか。	30%

月	時間数	学 習 内 容	関・意・態	思判表	技	知・理	評価方法
4月	5h	第1章 地球儀や地図からとらえる現代世界 1 宇宙からみた地球 2 さまざまな世界地図 3 世界地図上の方位と時差 4 国家と領域 5 強まる世界と結びつき					態：ノート 表：発表 技：作業 知：小テスト
5月	8h	第2章 世界の諸地域の暮らしと文化 1節 自然閑居と人々の暮らし 1 世界の地形 2 世界の気候 3 水と人びと生活 4 世界の民族と宗教 2節 東アジアの人びとの暮らし 1 東アジアの多様性と共通性 2 中国のあゆみと生活の変化 3 中国工業のゆくえ					態：ノート 表：発表 技：作業 知：週末課題

		4 農村の変化と広がる地域格差	○	○		○	
6月	7 h	5 韓国社会の変化 3節 東南・南アジアの人びとの暮らし 1 東南・南アジアの自然と宗教 2 ヒンドゥー京都の暮らし 3 東南・南アジアの農業・漁業 4 ASEANの経済発展 5 インドの経済発展 4節 中央・西アジア、北アフリカの暮らし 1 中央・西アジア、西アフリカ自然と宗教	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	態：ノート 表：発表 技：作業 知：定期考査
7月	6 h	2 石油資源に恵まれる地域 3 西アジア・北アフリカで続く 4 ユーラシア大陸を東西につなぐ中央アジア 5節 中・南アフリカの人びとの暮らし 1 中・南アフリカの自然と生活と文化 2 一次産品依存の農業からの脱却 3 グローバル化資源争奪	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	態：ノート 表：発表 技：作業 知：週末課題
8月	3 h	4 アパルトヘイト後の南アフリカ共和国 6節 ヨーロッパとロシアの人びと 1 ヨーロッパの自然環境と民族・宗教 2 結びつきを強めるヨーロッパ	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	態：ノート 表：発表 技：作業 知：ノート内容確認
9月	7 h	3 ヨーロッパの産業 4 東ヨーロッパ諸国諸国の変化 5 ヨーロッパの民族問題 6 ロシアの人びとの暮らし 7節 北アメリカの人びと暮らし 1 多様な北アメリカの自然環境 2 多様な民族からなる北アメリカ 3 世界規模のアメリカ農業と関連事業	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	態：ノート 表：発表 技：作業 知：定期考査

		2 先進国の都市問題 6節 国際協力 1 さまざまな国際協力	○	○	○	○	
2月	4 h	2 真の国際協力をめざして 第1章 日常生活と結びついた 地図 1 身近な地図を集めてみよう 2 地図のきまりをしろ	○	○	○	○	態：ノート 表：発表 技：作業 知：定期考査
3月	5 h	3 地形図を読む 4 さまざまな情報を地図で表現 第2章 自然環境と防災 1 日本列島の大地形 2 日本列島の気候 3 地震・津波による災害と防災 4 その他の災害と防災	○	○	○	○	態：ノート 表：発表 技：作業 知：ノート内 容確認